

(7) 令和5年度下期下水道事業の概況

ア 建設事業の状況

既成市街地の汚水整備のうち、江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業については、古間木地区約2.8ヘクタール、向小金地区約0.9ヘクタール、手賀沼流域関連公共下水道整備事業については、青田地区約3.2ヘクタールの整備を行い水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。

更に、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る污水管整備として、運動公園周辺地区約4.7ヘクタールの整備を行い、水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。雨水管整備として、運動公園周辺地区約0.3ヘクタールの整備を行い、浸水対策を図った。

イ 業務の状況

当期の排水区域人口は、197,789人で、前年同期に比べ2,568人の増加があった。

行政区域内人口と比較する普及率は、93.70パーセントで、前年同期に比べ0.40ポイントの増となった。